

小児科後期研修プログラム

君津中央病院小児科では、2017年4月からは単独でのプログラムをおこなわず、千葉大学附属病院小児科関連施設としての申請をしています。

2017年4月からは、まず千葉大学附属病院小児科のプログラムで申請していただき、プログラムの責任者と相談し、当院への派遣となります。

「暫定プログラム(新専門医制度対応のプログラム)」と「現行制度」を併用することの発表がなされましたが、小児科学会としては、暫定プログラムに基づく登録、研修をすすめるとホームページにありますので、暫定プログラムに修正します。

小児科専門医制度では、卒後研修の2年間を含めて約5年間の臨床研修が必要となっています。研修を終えて専門医師険に合格すれば小児科専門医を取得できます。

(専門医試験受験の条件として日本小児科学会会員歴が継続して3年以上となっているので早めの入会を勧めます。)

【概要】

小児科の常勤スタッフは7名(2016年度)で、病床数は34床です。

年間入院実患者数は、2011年1,194人、2012年1,206人、2013年939人、2014年932人、2015年1,031人でした。

入院症例の内訳としては、肺炎・気管支炎・細気管支炎や、気管支喘息の入院が多く、次いで胃腸炎、尿路感染症、早期乳児発熱などの感染症関連疾患、熱性けいれんなどの痙攣性疾患が多く入院しています。その他、川崎病の多施設共同臨床試験、糖尿病及び小児内分泌疾患、食物アレルギー経口負荷試験の入院などもあります。

また、一般診療のなかで、であう特殊な疾患についても、院内他科や、千葉県内の「地域小児科センター」である千葉大学医学部附属病院小児科及び千葉県こども病院の各科とも相互に連携して診療を行います。その他、帝京大学ちば総合医療センター(血液腫瘍疾患)、千葉県循環器病センター(先天性心疾患)、千葉東病院(腎疾患)との連携もあります。(小児科 諏訪部)

【平成28年度スタッフ】

諏訪部 信一 部長・科長(平成3年 千葉大学卒)

専門分野：血液・腫瘍

認定資格等：日本小児科学会専門医、日本血液学会認定血液専門医、日本小児科学会代議員

有馬 孝恭 部長(平成8年 山梨大学卒)

専門分野：小児アレルギー疾患・小児リウマチ疾患、膠原病

認定資格等：日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医

木下 香	部長（平成 11 年 千葉大学卒） 専門分野：内分泌 認定資格等：日本小児科学会専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科（小児科）専門医・指導医、日本小児内分泌学会評議員
高田 展行	部長（平成 14 年 千葉大学卒） 専門分野：循環器 認定資格等：日本小児科学会専門医
林 美幸	医長（平成 16 年 岐阜大学卒） 専門分野：感染症
古賀 沙織	後期研修医（平成 25 年 日本大学卒）
菅谷 雅人	後期研修医（平成 25 年 東邦大学卒）
その他	非常勤職員 3 名